

豊かな知を創造し力のある教員を育てる

ー九州の教員養成拠点大学ー



国立大学法人

福岡教育大学

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町 1-1

TEL 0940-35-1200 (代)

FAX 0940-35-1259

PRESS RELEASE

令和 8 年 10 月 7 日

大学生が「地域の教育」をつくり直す 福岡教育大学の学生が中学生向け地域リーダー育成事業「MFKs みらい塾」の 再設計に挑戦②

＜本取組のポイント＞

- ・ MFKsみらい塾の最終日に、中学生約30名が活動を通して得た学びや成果を発表
- ・ プログラム終了後、プログラムの改善点について大学生が話し合う
- ・ 学生がプログラム改善案を企画し、プログラム実行委員に対して提案

＜中学生約30名が、4日間の活動で得た「学び」を発表＞

国立大学法人福岡教育大学（福岡県宗像市）では、令和8年度からサービス・ラーニング（SL）を本格的に導入している。その実践の場の一つとして、福岡県、宗像市、福津市、古賀市等が実施する中学生向け地域リーダー育成プログラム

「MFKsみらい塾」に、本学学生9名が参加している。大学生はプログラムの運営や中学生の活動サポートを担い、9月26・27日のプログラムでは、中学生は環境や観光・交通などの地域課題について話し合った。

10月11・12日の後半プログラムでは、その活動の集大成として、中学生は地域課題解決のために自分たちに何ができるのかを最終発表する。また、中学生たちが活動を通して何を学び、どのような気づきを得たのか、実際にプログラムに参加した中学生自身が、その成果も発表する。



＜「中学生の発表」で終わらない。ここから大学生の学びが始まる＞

今回の取組で特徴的なのは、中学生の成果発表をもって学生の活動を終わりにしないことである。中学生による成果発表の後、福岡教育大学の学生たちは、活動を振り返りながらMFKsみらい塾の今後の改善について話し合う場を設ける。学生が現場で感じたことや、中学生の様子・成果発表から得た気づきをもとに、「このプログラムを、もっと良くするにはどうすればよいか」について話し合う。

地域からは、これまで「教育的観点をより取り入れたプログラムに改善したい」というニーズが寄せられており、学生はそのニーズに応える形で、現行プログラムの分析と改善に取り組んでいる。今回の振り返り・話し合いを今後のプログラム改善につなげ、学生は今年度中に改善案をまとめ、地域に提案する予定である。そして令和9年度には、学生が企画した改善プログラムを実際に実施し、その成果を検証することを目指している。

<取材のポイント>

今回のMFKsみらい塾では、以下の場面が取材可能となっている。

① 中学生による成果発表

中学生が活動を通して得た学びや成果を発表する。

② 大学生による活動の振り返りと、プログラム改善の話し合い

大学生が自分たちの活動を振り返り、現場での気づきをもとに、今後のMFKsみらい塾をより良いものにするための意見交換を行う。

<今後の予定>

令和8年10月11日（日）・12日（月・祝）

MFKsみらい塾（後半）

会場：グローバルアリーナ

※プログラム終了後に大学生の振り返りを1時間ほど行う。

令和8年10月23日（金）以降の授業

・プログラム改善案の話し合い

・地域リーダー育成プログラム実行委員会に対して、学生が考案したプログラムの発表

場所：福岡教育大学

<実施体制>

主催 宗像・福津・古賀地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会

（宗像市、宗像市教育委員会、福津市、福津市教育委員会、古賀市、古賀市教育委員会、福岡県）

共催 福岡教育大学

後援 福岡県教育委員会

<本件に関する問い合わせ先>

福岡教育大学経営政策課

TEL：0940-35-1205 kouhou@fukuoka-edu.ac.jp

<内容に関する問い合わせ先(SL科目開発者・担当者)>

福岡教育大学教学共創マネジメントセンター 馬場 洸志

TEL：0940-35-1481 baba-t@fukuoka-edu.ac.jp
